

Weekly report

MINKABU
THE INFONOID

株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイド
東京都千代田区九段北1-8-10

今週の注目材料 = 8日に米欧で重要イベント

2022年9月5日

米国、ユーロ圏の大幅利上げ期待が強まる中、8日に米欧の注目イベントが集まっています。ECB理事会と米パウエル議長の金融政策などについてのディスカッション参加です。

まずはECB理事会です。前回7月21日のECB理事会で、11年ぶりとなる利上げを実施したECB。利上げ幅は大方の0.25%ポイント予想にたいして、0.50%ポイントとなりました。これにより主要政策金利は0%から0.50%、中銀預金金利は-0.5%から0%になり、2014年6月から続いたマイナス金利が解消しています。

前回の会合、当初は0.25%の利上げがECBから示唆されており、市場でもコンセンサスとなっていました。7月に入って示された6月のユーロ圏消費者物価指数(CPI)が前年同月比+8.6%と、統計を開始した1997年以降で最も高い水準となったことで、直前になって0.50%の可能性が指摘されていましたが、市場の見通しとしては0.25%が大勢となっていました。

また、7月13日から14日にかけてユーロドルが約20年ぶりにパリティ(1ユーロ=1ドル)を割り込むなど、ユーロ安の動きが強まり、輸入物価の上昇による物価全体への悪影響への懸念が広がったことも、大幅利上げにつながったとみられます。

ECBは9月8日のECB理事会でも積極的な利上げ姿勢の維持が示されたこともあり、市場は0.50%ポイントの利上げ継続を期待していました。

しかし、ここに来て0.75%ポイント利上げの期待が急速に広がっています。ECB理事会の中でも利上げに積極的なタカ派として知られるオーストリア中銀のホルツマン総裁、オランダ中銀のクノット総裁が相次いで0.75%ポイント利上げの可能性に言及しました。エストニア中銀のミュラー総裁などの同調者も出てくる中、8月31日に発表された8月のユーロ圏消費者物価指数概算値速報が前年比+9.1%と7月の8.9%、市場予想の9.0%を超える大きな伸びとなり、0.75%利上げ期待がさらに押し上げられました。同日ドイツ連銀のナーゲル総裁は力強い利上げが必要と発言しています。

比較的中立に近いフランス中銀のビルロワドガロー総裁は、決断力が必要だが、予測可能で秩序だった利上げが必要と、少し軟らかいトーンで発言していますが、インフレに対して断固とした姿勢で臨むとしており、大幅利上げの可能性を否定していません。

市場でも0.75%ポイントの利上げを強く意識する展開となっています。米金融機関大手ゴールドマンサックスとバンクオブアメリカ(BofA)のエコノミストはともに従来の予想を上方修正し、0.75%ポイントの利上げ見通しを示しました。短期金利市場でも9月もしくは10月のいずれかで0.75%ポイントの利上げを行うとの見通しを織り込んでいる状況に。今回に関しては0.5%ポイント利上げの可能性も残っており見方が分かれています。0.75%利上げが実施される可能性が相当高そうです。

この場合、ユーロ買いの動きが期待されますが、問題は同日行われるパウエル議長の金融政策に関するディスカッション参加と、それを受けた9月の米FOMCでの大幅利上げ

期待です。

パウエル議長は先月のジャクソンホール会議で利上げ継続への強い姿勢を示しました。議長は引き締め姿勢を一定期間維持することが必要。目標が果たせたと確信を得るまで継続すると発言しています。

また、歴代議長の中でもインフレファイターとして名高いボルカー元議長に言及。インフレへの強い姿勢を印象付けました。

こうした中、パウエル議長はECB理事会のある8日に金融政策に関するディスカッションに参加することが発表されています。ワシントンDCに本部のある著名なシンクタンクのケイトー研究所が主催するディスカッションで、テキストの発表などはありませんが、質疑応答が予定されていることもあり、今月のFOMCの見通しに重要な影響を与えることが期待されています。

議長が改めて積極的な利上げ姿勢を示すようだと、0.75%の利上げ見通しがもう一段強まる形で、ドル高につながると期待されます。

山岡和雅 | MINKABU PRESS編集部

1992年チェースマンハッタン銀行入行。1994年ロイヤルバンクオブスコットランド銀行（旧ナショナルウェストミンスター銀行）移籍。10年以上インターバンクディーラーとして活躍した後にGCIグループに参画。2016年3月よりみんかぶ（現ミンカブ・ジ・インフォノイド）グループに入り、現在、minkabu PRESS編集部外国為替情報担当編集長。主な著書に「初めての人のFX 基礎知識&儲けのルール」ずばる舎、「夜17分で、毎日1万円儲けるFX」明日香出版社など

<免責事項>

本レポートは情報の提供のみを目的としています。投資に関する最終判断はご自身の責任においておこなわれるようお願いいたします。また本レポートに掲載している情報の正確性については万全を期しておりますが、人為的、機械的その他何らかの理由により誤りがある可能性があり、株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイドは、利用者がこれらの情報を用いて行う判断の一切について責任を負うものではありません。また、株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイドが提供するすべての情報について、許可なく転用・転載等することを固く禁じます。

<著作権について>

本レポートの著作権は、原則として当社(株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイド)が保有しており、著作権法、その他の法律および条約により保護されています。本レポートご利用のお客様は、私的使用目的の複製、引用等著作権法上認められている範囲を除き、当社およびその他著作権者の許諾なく、これらの著作物を翻案、公衆送信、営利を目的とする使用等いかなる目的、態様においても利用することはできません。